



## 初任者研修 ～課題等研修Ⅲ～【小学校】

平成24年10月25日(木)  
会場:高知市立潮江南小学校

特別活動(学級活動)の授業参観や講義を通して、特別活動の在り方を理解するとともに、指導力の向上を図ることを目的とし、潮江南小学校 弘瀬 直美 先生を講師に研修を行いました。

### 研修Ⅰ(授業参観) ー第2学年特別活動ー

#### 議題名「学年ハロウィン集会をしよう」

本時のねらい

- ハロウィン集会についての話し合い活動を教師の助けを得ながら進めることができる。
- みんなで取り組めるクラスの出し物を考えることができる。

#### <学級会の話し合いの仕方>

輪番制で、司会グループ(計画委員)が会議の準備をし、司会の手引きを見ながら会を進めていきます。

#### <本時の活動計画>

司会グループは、教師の助けを得ながら、活動計画に沿って司会進行、記録をします。

議題	話し合いのねらい	話し合いの進め方	話し合いの記録
ハロウィン集会について話し合う	ハロウィン集会についての話し合い活動を教師の助けを得ながら進めることができる。	話し合いの進め方	話し合いの記録
みんなで作る出し物について話し合う	みんなで作る出し物について話し合い活動を教師の助けを得ながら進めることができる。	話し合いの進め方	話し合いの記録

#### <教師の支援>

- \* 司会グループが自信を持って進行していけるように助言する。
- \* 前もって自分の意見をカードに書かせ、掲示しておく。
- \* 児童の考えが広がるようにこれまでの学校行事や学習内容などを振り返りみんなでできるもののイメージを掴ませる。
- \* どんな準備や役割が必要か事前に計画委員と一緒に考えておく。



#### 受講者感想

- ☆ 子どもたちに話し合い活動をさせるには、事前の準備や粘り強い支援が必要である。教師がどんな姿に育ってほしいのか明確な目標を持ち、子どもたちの願いや思いをかなえることのできる特別活動の時間を作っていきたい。
- ☆ 授業参観を通して、話し合わせることの大切さやそれによって生まれる集団の高まりを感じることができた。

### 研修Ⅱ(講義) 「特別活動の在り方について」

みんなの願いや思いをかなえることのできる時間

学級をもっと楽しく、なかよくなれるようにしていく時間

学校の授業の中で唯一自分たちで考えて自分たちで使える時間

#### 特別活動って...

- ◆ 学級活動
- ◆ 話し合い活動、係活動、集会活動
- ◆ 児童会活動
- ◆ 委員会活動、〇〇集会
- ◆ クラブ活動
- ◆ 学校行事



特別活動の図書や冊子には、楽しいアイデアがいっぱい!

### 学級活動のすすめ

#### ◆ 準備 ◆

- 環境づくり  
学級活動コーナー
- 議題の選定  
・ まずは、全員書いてポストに入れる
- ・ 学級活動年間計画の活用
- 計画委員の役割と運営  
・ 議題の選定
- ・ 提案理由の確認
- ・ 条件の確認
- ・ 話し合いの柱の決定
- ・ 話し合いの進め方の確認

#### ◆ 話し合い活動の指導 ◆

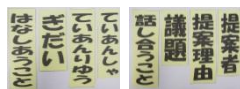
- 話し合いのルール  
・ どんな話し合いも学校目標・学級目標からスタート
- ・ 何のために話し合うのか、決定するのかを意識する。
- ・ その決定が誰にとって、利益があるのか、いつも考える。
- ・ 話し合いは会議であるから、手順や言葉遣いを大切にする。
- ・ 話し合いで決めたことは、必ず実行する。

#### ◆ 活性化のポイント ◆

- ・ 学校の実態に応じた学年ごとの教育計画の作成
- ・ みんなで使える学級会グッズ
- ・ できるところからやってみる。(司会グループづくり、定期的なマニュアルを使って実施)
- ・ 行事や道徳、総合、生活科と関連させて。
- ・ 学年のレベルより少し低いところから始める。(議題、提案理由、話し合いの柱1~2)
- ・ はじめは、楽しい集会活動から入りやすい。
- ・ 日常の係活動を育てる。

#### あると便利! 学級会グッズ

学年にあわせて、作っておくと重宝!!



子どもたちの意見に反映して貼っていきます。

#### ◆ 適切な助言 ◆

- できるだけ見守る
- 控える
- みんなに聞こえるように

### 受講者感想

☆ 今回の研修で、学級活動を通して、児童に話し合うよさを実感させることや協力のよさを感じさせることができることが分かった。また、お互いを認め合う場面ができたり進んでやろうという意欲を引き出せたりと様々な児童の姿を見ることができる。自分の学級でも計画的に学級活動を行い、児童自らが意欲的に活動する姿を引き出していきたい。

自分や周りの仲間と協力して実践する経験が、これからの子どもたちの生活にきっと役立つはず。

#### <特活のすすめ>

- ◆ 学校生活に変化
- ◆ 学力に関係なく
- ◆ 子どものいきいきと輝く姿

たのしい!  
おもしろい!



# ・ 初任者研修 ～課題等研修Ⅲ～【中学校】

平成24年10月25日(木)  
会場:高知市立三里小学校

○目的 小学校の授業参観を通して、小中連携教育に対する理解を深め、教員としての指導力の向上を図る。  
三里小学校を会場に、「研修Ⅰ」では授業参観と郷土資料室見学を行い、「研修Ⅱ」では三里小学校 杉本一幸校長から「小中連携教育の在り方について ～よりよい支援のために～」と題してご講話いただきました。中学校の初任者16名が参加し、小中連携教育にかかわる研修を行いました。

## 研修Ⅰ(授業参観)

### 4年1組 算数 山谷伸 教諭



小学校の丁寧な取り組みを参観させていただきました。

### 5年2組 国語 小満方美保 教諭



生き生きと活動する子どもたち。中学校とは少し雰囲気が違うかな？

### 6年2組 算数 山崎秀忠 教諭



子ども同士のかかわり、学び合いの学習。学ぶべき点は多くあります。

## 研修Ⅰ(郷土資料室見学)



三里小学校には、郷土の歴史について子どもが実際に目で見て学習できる資料室があります。  
15分の短い間でしたが、初任者の先生方も熱心に見学をしていました。



見ごたえのある資料がそろっていました。

## 研修Ⅱ(講話) 「小中連携教育の在り方について ～よりよい支援のために～」

講師 三里小学校 杉本一幸 校長

### \* 小中連携教育について \*

(三里中・十津小・三里小)

三里中校区では、児童生徒の基礎学力の定着・基本的生活習慣の確立を図り、一人ひとりの進路を保障するための望ましい小・中連携教育を目標にしている。

### 具体的な取り組み

- ・月1回の管理職研修会の実施 (来年度から研究主任もメンバーに加わる)
- ・小中連携の日に公開授業を行う
- ・生活アンケートの実施
- ・中学校入学に向けての準備として「算数つなぎプリント」を導入
- ・校区3校による合同研修の実施
- ・小学校の算数の授業に中学校の先生がTTとして入り授業の中で交流を行う
- ・支援を必要とする児童生徒を中心とした授業づくりを行う
- ・年度末に徹底した引き継ぎ会を実施 (個別の指導計画をもとに)
- ・合同の防災学習の取り組み



### 教師としてのこれから

- \* なぜ(中学校)教師になったのか
- \* 今しなければならぬことは何かを考える
- \* 5年後、10年後の自分をイメージする
- \* よいお手本を見つける
- \* 記憶でなく記録をとる
- \* 教師以外の自分を持つ

### \* 三里小学校の取り組み \*

特別支援学級を根底においた基礎学力の定着を目指して

子ども一人ひとりの真の姿をしっかりと捉えてそのニーズに合った教育をしていくために・・・

### 大切にしている5つの視点

- 1 児童を理解する
- 2 学級経営の柱を立てる
- 3 よりよい学びを目指して
- 4 学びやすい学校、暮らしやすい学校
- 5 困り感が大きい児童への手立て

### 贈る言葉として・・・

課題をもつ子どもと向きあうとき、それを子どもや親のせいにはいけない。中学校の先生は各教科の専門の先生なので「さすが先生!」と言われるような授業ができる力を付けてほしい。

## < 受講者の感想 >

- 子どもたちの積極的な発表や授業に意欲的に取り組む姿勢を見ることができ、大変参考になりました。また、授業者の丁寧な板書や児童の実態に即した発問など参考にすべき点があり、今後の授業に生かしていこうと思います。
- 小中連携教育の在り方について、ご講話いただき、教員が常に児童の実態を把握することや、三里中学校区が9ヵ年を見通し学校・家庭・地域が一体になって取り組んでいることがわかりました。
- 杉本校長先生より、小中連携教育に関することだけでなく、教員としての在り方や今後教育現場でどのように取り組んでいけばよいかということもお話いただき、初任者としてあと半年どうしていけばよいかを考える機会になりました。